



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 〇秘書課 ☎36-7117

今月のテーマ 令和元年度 島田市総合計画市民意識調査の結果について

島田市では、島田市総合計画に基づくまちづくりの進捗状況などを検証し、今後の施策に活かすため、18歳以上の市民2,500人（無作為抽出）を対象に、市の取り組みへの評価や感想などを伺う市民意識調査を、毎年度実施しています。今年度も6月から7月にかけて実施し、953人（回収率38.1%）からの回答をいただきました。今月は、その調査結果を報告させていただきます。

まず、「島田市の住みごち」についての設問に、「住みよい」と回答した市民は85.0%でした。平成25年度以降、8割を超える割合を維持しており、県内他市町に比べかなり高い値です。「定住意向」については、77.4%の市民が「これからも住み続けたい」と回答しましたが、20歳代以下の若年層では「市内に住み続けたい」と回答する割合の低下傾向がみられます。



こうした中、30歳代においては、若年層の傾向とは異なり、84.2%と赤ちゃんふれあい体験授業の様子という高い定住意向が示され、年齢別の社会動態において30歳代と10歳未満の転入超過が5年連続で続いていることを裏付ける結果となりました。総合計画における島田市の将来像に込めた思いである「子育てするなら島田市で」がさらに定着するよう、今後も県内トップレベルの子育て支援・教育環境整備を推進するとともに、大学進学等で市外へ転出した若者に、将来島田を担う人材としてUターンしてもらえる環境を整備してまいります。

「市の好感度」についての設問では、約7割(69.2%)の市民が「島田市が好き」と回答しました。「市民の幸福感」については、10点満点で平均6.5点(全国平均6.4点)となり、性別で見ると男性よりも女性の平均点が高い結果となっています。「幸せ」であるために重要な事項については、上位から「健康状況」「家計の状況」「家族関係」「精神的なゆとり」「友人関係」となっており、平成25年度調査以降、上位5項目に変化はありません。

次に、「島田市の取組に対する満足度と重要度」については、満足度第1位が7年連続で「ゴミ・リサイクル」、第2位が「健康増進」(健康診断や予防対策)でした。今後、どのようなまちを目指したらよいか(重要度)では、「医療の充実」「地震・水害などの災害に強いまち」「福祉が充実したまち」「活力のある、産業が発展したまち」「ひとづくりや育児・教育環境が充実したまち」が上位を占めています。さらに、今後「重点的に取り組むべき課題」として、「障害者が生活しやすい環境づくり」「雇用の確保・勤労者福祉の充実」「公共交通機関の充実」「まちの拠点としての駅周辺整備」「市の財政の健全経営」などが挙がりました。

皆様から寄せられた貴重な回答内容は、さまざまな観点から分析を行い、今後の総合計画、実施計画(事業)、予算編成などの基礎資料といたします。また、今後も毎年度の市民意識調査を続け、市政の見える化、改善・改革による効率的な行政運営に努めてまいります。

なお、今年度の調査結果の概要および詳細な報告書は、市ホームページや市内各支所、公民館などでご覧いただけます。

「広報ひみ」から

姉妹都市である富山県氷見市から寄せられたイベント情報などをご紹介します。

氷見の冬の旬といえば、なんと言っても日本一のブランドともいわれる「ひみ寒ぶり」。本格的なシーズンを迎え、氷見漁港はさらに活気づいています。この季節、富山湾を南下してくる脂ののったブリのおいしさは、格別です。

現在開催中の「ひみぶりフェア」では、ブリ懐石やブリしゃぶ、にぎりずしなどの本物の味をお楽しみいただけます。ぜひ、この機会に氷見市へお越しください。

期間／2月29日(土)まで

※氷見市内の飲食店、宿泊施設、ひみ番屋街などが参加。フェア参加店なら、どこでもブリ料理を堪能できます。詳しくは、氷見市観光協会ホームページ「きときとひみどっとこむ」で検索してください。

〇(一社)氷見市観光協会
☎0766-74-5250

